

お詫びと訂正(Virtage)

このたびは、BladeSymphony BS2000(以下 システム装置)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。「ユーザーズガイド(第 15 版)」に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

■ ユーザーズガイド

・「12 HVM について」「HVM の起動」「EFI の設定」(p.1155)

誤

項目	設定値	備考
SMT(Simultaneous Multi-Threading)	Disable *1	HVMファームウェアバージョン 57-2X以前
	Disable or Enable	HVMファームウェアバージョン 57-3X以降
APIC Mode	xAPIC *2	高性能サーバブレードかつ BMCファームウェアバージョン 04-48以降
Socket Interleave	Non-NUMA	—
PCI Error Handling Mode	Legacy	HVMファームウェアバージョン 58-6X/78-6X以前
	PCIe Error Isolation	HVMファームウェアバージョン 58-7X/78-7X以降
上記以外	Default	—

正

項目	設定値	備考
SMT(Simultaneous Multi-Threading)	Disable *1	HVMファームウェアバージョン 57-2X以前
	Disable or Enable	HVMファームウェアバージョン 57-3X以降
APIC Mode	xAPIC *2	高性能サーバブレードかつ BMCファームウェアバージョン 04-48以降
Socket Interleave	Non-NUMA	—
PCI Error Handling Mode	Legacy	HVMファームウェアバージョン 58-6X/78-6X以前
	PCIe Error Isolation	HVMファームウェアバージョン 58-7X/78-7X以降
PCIe Error Isolation	Mezzanine	Disable
		HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以前
上記以外	Default	—



EMA0009230-B

・「12 HVM について」「注意事項」(p.1439)

追加

パワーキャッピングについて

- パワーキャッピング機能を使用する場合、消費電力上限値が小さすぎると、CPU パフォーマンス低下の影響で、LPAR 上の OS の動作が保証できなくなる場合があります。十分に検証を行い、適切な値を設定してください。

・「12 HVM について」「注意事項」「ハードウェアメモリダンプについて」(p.1443)

誤

ハードウェアメモリダンプについて

- HVM モードでは、ハードウェアメモリダンプをサポートしていません。HVM モードでダンプを採取する場合は、HVM ダンプおよびゲストメモリダンプを使用してください。

正

ハードウェアメモリダンプについて

- HVM モードでは、ハードウェアメモリダンプをサポートしていません。HVM モードでダンプを採取する場合は、HVM ダンプおよびゲストメモリダンプを使用してください。
なお、HVM ファームウェアバージョン 58-7X/78-7X 以降では、ハードウェアメモリダンプの設定が Enabled の場合、HVM の起動を抑制します。
EFI セットアップメニューにより、「Advanced」-「hardware memory dump Settings」-「hardware memory dump」の設定を Disabled にしてください。